

自分ですすめる『学びの一歩』 (A3に拡大して使用してもよい)

中1技術・家庭科(家庭分野)『ガイダンス』

目標 家庭分野の学習を始めよう

その1 学習の進め方

<できたら☑を書きましょう!>
□教科書P8~9「自立と共生を目標そう」を見て、どんな学習をするのか確認しよう。

□教科書P10~11を読んでこれから小学校で学習した内容を振り返り、これから中学校で学習する内容を確認しよう。

□教科書 P12の「どんな自分になりたいかな」を読んで、自分の生活をチェックしよう。(教科書に書き込もう。)

できる/している→◎

大体できる →○

時々している →○

できない →△

その2 自分でやってみよう

1. 小学校の家庭科の学習を振り返って、学習してよかったこと、自分の生活に役立ったこと、家族・地域の人たちのためになったと思うことを書こう。

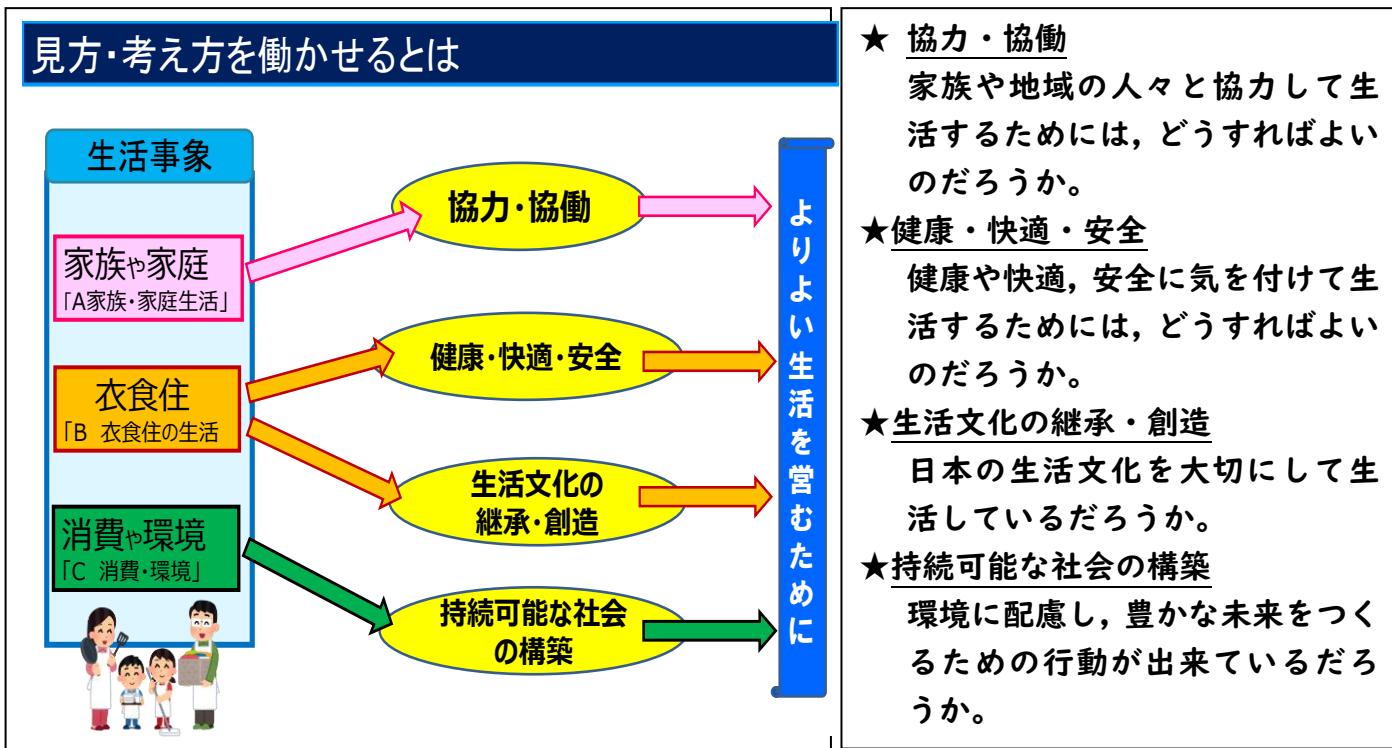
2. 教科書のページをめくって、学習してみたいページや好きなページを探そう。そして、学習してみたいと思ったり、好きだと思ったりした理由を挙げよう。

<学習してみたいページ、好きなページ>

<理由>

3. 自分の生活を振り返って、課題を見つけよう。(自分の課題を具体的に書こう。)

□家庭分野の学習では、よりよい生活を営むために「家族・家庭生活、衣食住の生活、消費生活・環境」の内容を3年間かけて学習していきます。学習を進める際には、「見方・考え方」を働かせて自分の考えを深めていきます。「『見方・考え方』を働かせる」とはどのようなことなのか下図を見て確認しましょう。★のキーワード（視点）を意識して、家庭生活を見つめていきましょう。



その3 学びを生かしてチャレンジ

- ・これからの学習で家族の一員として、どんな自分をめざしていきたいか、3年後の自分をイメージして自分の考えを書こう。

その4 学習を終えて…

<あてはまるところに○をかこみましょう> …この振り返りは皆さん自身が自分の学びを振り返るためのものです。

- 教科書を読んで家庭科で学ぶ内容が分かったか。

分かった・だいたい分かった・なんとかわかった・わからなかった

- 家庭科の学習でどんな自分を目指していきたいのか考えることができたか。

考えることができた・まずまず考えることができた・自信がないことができた・できなかつた

- 学習を終えて、分からぬことや疑問点を書こう